

市制60周年協賛事業として、市の伝統芸能を題材にした映画「かぐらめ」を制作します

このたび、市とかがらめ制作委員会とで、市の「神楽」を全国にPRする映画を製作することになりました。市内出身の奥秋監督と県内出身のプロデューサーをはじめ、山梨にゆかりのある、今人気急上昇中の女優・武田梨奈さんを主役に迎え制作は行われます。この映画の題材となるのは四日市場神楽です。これは9月1日のふるさと時代祭りで見られる市の伝統文化のひとつです。

市では、「輝かせます 都留の誇り」を合言葉に、伝統文化や伝統芸能などの誇りある歴史と文化を次世代に伝え、市が輝くふるとあり続けるよう取り組んでいます。古くからそれぞれの地域で受け継がれてきた「祭り」「神楽」「囃子」などの伝統文化は、地域に住むひとたちのつながりを作り、育んできました。しかし、ライフスタイルの変化や少子化の影響を受けて、これらの伝統は簡略化されたり廃止になるなど次第に失われつつあります。

この大切な流れが途切れることのないよう、映画というカタチで今の、そして未来の子どもたちへ残していきます。



■主演の武田梨奈さん

出演者のご紹介

脇を固めるベテラン俳優の皆さんも、随時発表していきます！

主人公：菊地秋音役 武田 梨奈さん

プロフィール

- ◆神奈川県出身
- ◆1991年6月15日生まれ
- ◆特技：空手(黒帯)、ナンチャク
- ◆出演作
 - 2009年 映画「ハイキック・ガール」でデビュー
 - 2014年 映画「ナイグルマーZ」出演
 - 2014年 映画「祖谷物語～おくのひと～」主演
 - 2014年 映画「木屋町DARUMA」出演 他多数

◆クレジットカードのCMで頭突きで瓦15枚割に挑戦しています!!

コメント

私は山梨県出身ではありませんが、子どもの頃からよく山梨には来ていたので、この作品に出演できて嬉しいです。今回この役を通し、都留市をアピールしていきたいです。

普段は女性が舞うことが禁じられている神楽を演じるシーンがありますので、どうぞ皆さん楽しみにしてください！



白須 慶子さん

プロフィール

- ◆山梨県都留市出身
- ◆特技：弓道(国体出場)、日本舞踊
- ◆出演作としては、映画「60歳のラブレター」(2009)、「しあわせになれない悲しい花」(2010年)、ドラマ「梅ちゃん先生」(2012年)、「八重の桜」(2013年)、「甲州戦記 サクライザー」(2013年～)など
- ◆山梨中央銀行「wakuwaku エブリ」イメージガール
- ◆昨年度の大名行列にお姫さま役で出演しました！



筒井 真理子さん

プロフィール

- ◆山梨県甲府市出身
- ◆早稲田大学在学中より鴻上尚史主宰「第三舞台」参加
- ◆映画、ドラマ、舞台、CMと幅広く活躍。「花子とアン」(NHK)、「ラスト☆シンデレラ」(CX)など話題のドラマの他、近年の映画出演作に「アキレスと亀」(2008年・北野武監督)、「希望の国」(2012年・園子温監督)、「探偵はBARにいる2」(2013年・橋本一監督)、「真夏の方程式」(2013年・西谷弘監督)など



『獅子神楽』という伝統文化を世界へ そして映画というカタチで、未来の子ども たちへ残します



奥秋 泰男監督

都留市出身
株式会社ヌーヴォ代表取締役

プロフィール

TVCMからミュージッククリップ、大手企業のプロモーション映像など数多くの作品を手掛けています。またNHKなどの番組タイトル制作も数多く行っています。今回の映画「かぐらめ」が初の長編監督作品となります。

私の住む地域(宝地区)にも今から40年ほど前には、春祭り、秋祭りに『獅子神楽』が神社で神々しく舞っていたのを思い出します。当時は私の父も獅子神楽の舞い手でした。しかし私は18歳で上京して以来『獅子神楽』のことなど全く考えもせず、その伝統文化を受け継ぐことなく絶やしてしまいました。父が3年前に他界し、帰郷して初めてその大切なことに気付かされたのです。しかし、今となっては笛、太鼓の方々も高齢になつていたり、他界していたり、当時の映像なども残っておらず、その地域独自の『獅子神楽』を復活させるのは至難の業となつてしまいました。

そこで現在映像制作を生業にしている私は、映画という手法でこの伝統文化を広く世界に伝えたいと思いました。幸いにして都留市には現在でも約30の保存会が存在し『獅子神楽』の伝統文化を守っています。今回は四日市場神楽保存会と市の全面協力を得て、とにかく映画というカタチでこの大切な伝統文化を後世に残す、ということに至ったのです。



統括プロデューサー
小池 和洋さん
 プロフィール
 山梨県中央市出身
 株式会社リトルバード代表
 取締役
 プロデュース作品に『棚の隅』
 『休暇』『ナイトピープル』など
 があります。



四日市場神楽保存会 会長
吉澤 政次さん
 ※吉澤さんには舞の指導など
 をサポートしていただきます。
コメント
 子ども達に郷土芸能の大切さ
 を知ってもらい、きっかけと
 なればと思い、制作に協力す
 ることになりました。



■ 6月9日に市役所で行われた制作発表の様子
 多くの報道関係者が集まりました

映画「かぐらめ」制作・公開スケジュール

日 程	内 容
平成26年6月9日	○制作発表記者会見
	○脚本完成
平成26年7月	○出演者決定
	○ロケハン
平成26年8月	○神楽練習
平成26年9月	○八朔祭・クランクイン
平成26年10月～	○編集作業
平成27年2月	○完成試写会
	○国際映画祭出品
平成27年9月	○劇場公開スタート
平成28年3月	○DVDレンタル開始

※スケジュールなどは変更する場合があります。

心がホッとする温かいストーリー
 小学生の時に最愛の母を亡くした時も
 父は「獅子神楽」を舞っていた。それ以降
 娘と父の間には深い溝ができてしまった。
 50年に一度の例祭を前に、舞い手の父の
 体に異変が：
 親子の葛藤、そして愛情、さらに伝統芸
 能の継承を考える感動の作品です。

お願い
 今後、撮影の際には市民の皆さまにご協
 力をいただきたく場合もありますので、ぜひご
 協力くださいますようお願いいたします。
 また出演者や制作風景などについては、
 随時発表していきますので、お楽しみに！

都留市制 60 周年 協賛事業

映画

かぐらめ

KAGURA-ME

協力／富士の国やまなしフィルム・コミッション

